

建設機械部材を開発

「これからは建設機械にも菜種油を使うんですよ」。スロースタートだった就職活動で、この話を聞かなければ機械メーカーで働くことはなかっただろう。大学の油化学研究室で菜種油によく似た物質を合成していたので何か身近に感じた。入社してみると、想像していた「白衣で実験」とはかなり違っていたが、あれから四半世紀がたったことを思うと、就職とは本当に「縁」だと感じる。

入社後はオイルの応用研究に従事したが、10年目に転機が来た。

凛としていきる

理系女性の挑戦

無駄な経験存在せず



実技研
ツテク
マツ
コマー
モココ
デウコ
の行セ
機修セ
建修セ

油圧装置のタンクを小
さくする担当へ配置転
換になったのである。
「エンジニアならI
型でなくΠ(パイ)型
人材を目指せ。オイル
の専門知識(Πの縦
線)だけでなく、機械
設計に関する幅広い知
識(同横線)も必要
だ。その上で強みとな
る第二の専門(もう一
つの縦線)を身につけ
てほしい」。当時の
部門長に言われた言葉
をよく覚えている。

図面仕事は想像以上
に勝手が分からず、苦
しい時期もあった。本
当に分らないと「何
が分からないかも分か
らない」ので質問すら
できないものだ、と後
になってようやく実感
できたほどである。幸
い、この仕事は開発部
門に採用され、実用化
された。見よう見まね
で皆と一緒に製図、車
体改造、計測・試験と
片っ端から取り組んだ
経験が自分のモノづく
りの原点になった。

現在は、建設機械の
油漏れを防ぐと同時に
土砂の侵入も防ぐフロ
ーティングシールの開
発を担当している。厳
しい環境下で稼働させ
る建設機械に不可欠の
部品だけに開発は難し
いが、それだけにやり
がいもある。

新しいテーマを担当
する度に一からの勉強
になるのが常だが、40
歳を過ぎてからは、物
事が瞬時に見えやす
くなったように感じる。
「入力があるレベルを
超えると一気に点と点
がつながりやすくなり
ひらめきにつながる」
と何かで読んだ覚えが
あるが、無駄な経験と
いうものは存在しない
のだろう。年をとるの
も悪くないと思う。

分次第である。メーカ
ーで働く以上、自分の
携わった仕事は世に出
て社会の役に立つてほ
しい。昔も今もそれが
自分の原動力である。
企画協力・日本女性
技術者フォーラム(J
WEF)

現在の原動力である。
企画協力・日本女性
技術者フォーラム(J
WEF)

△ コマツ開発本部
材料技術センタ
チーム長
小西 晃子
△ (火曜日に掲載)



△ フロフィル 91年
慶大理工卒、同年コマ
ツ入社。10年より現
職。